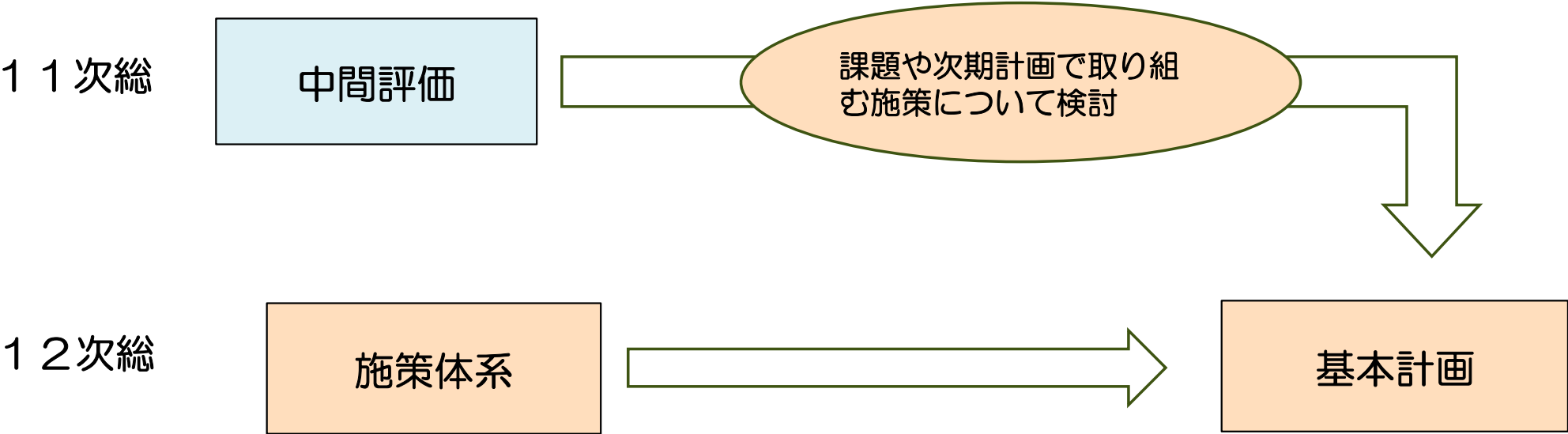


I 目 的

1 1 次 総	• 令和3年度から令和5年度までの各年度における指標の実績と評価を踏まえ、現行計画（令和7年度まで）の目標達成に向けた「成果」「課題」「今後の方向性」を確認します。
	• 評価結果を踏まえ、目標達成に向けて具体的な事務事業へ反映します。
1 2 次 総	• 中間評価を通じて、次期総合計画および次期創生総合戦略の策定に向けた検討に活用します。



第1 1 次鳥取市総合計画の中間評価について

Ⅱ 中間評価の方法

- 各施策で設定している指標（計70項目:評価対象外を除く）において、達成率区分に基づき、①（順調/達成）、②（概ね順調）、③（やや遅延）、④（遅延）、⑤（評価対象外）、⑥未達成の評価を毎年度行っている。
- 中間評価では令和3年度から令和5年度までの各年度における指標の実績と評価を踏まえ、現行計画（令和7年度まで）の目標達成に向けた「成果」・「課題」・「今後の方向性」を確認し、まちづくりの目標に向けて令和7年度の施策への反映と、次期総合計画策定に向けた検討に活用します。

<評価の目安>

（パターンA）年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	順調	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和3年度～令和5年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
②	概ね順調	80%～99%	
③	やや遅延	60%～79%	
④	遅延	0%～59%	
⑤	評価対象外	—	当該年度の年次目標値が設定できないものは「評価対象外」とし、令和3年度～令和5年度の実績状況を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等について記載しています。

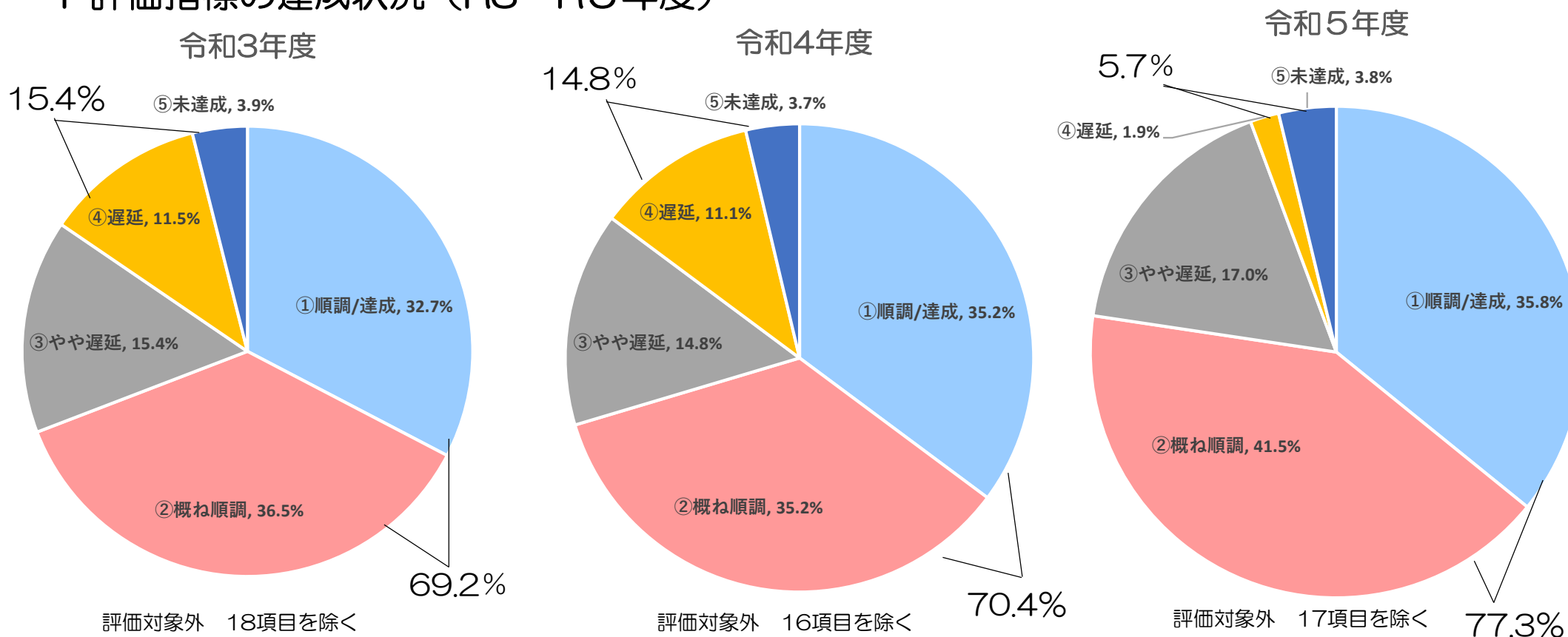
（パターンB）指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	達成	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和3年度～令和5年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
⑥	未達成	0%～99%	

第11次鳥取市総合計画の中間評価について

Ⅲ 評価結果

1 評価指標の達成状況（R3～R5年度）

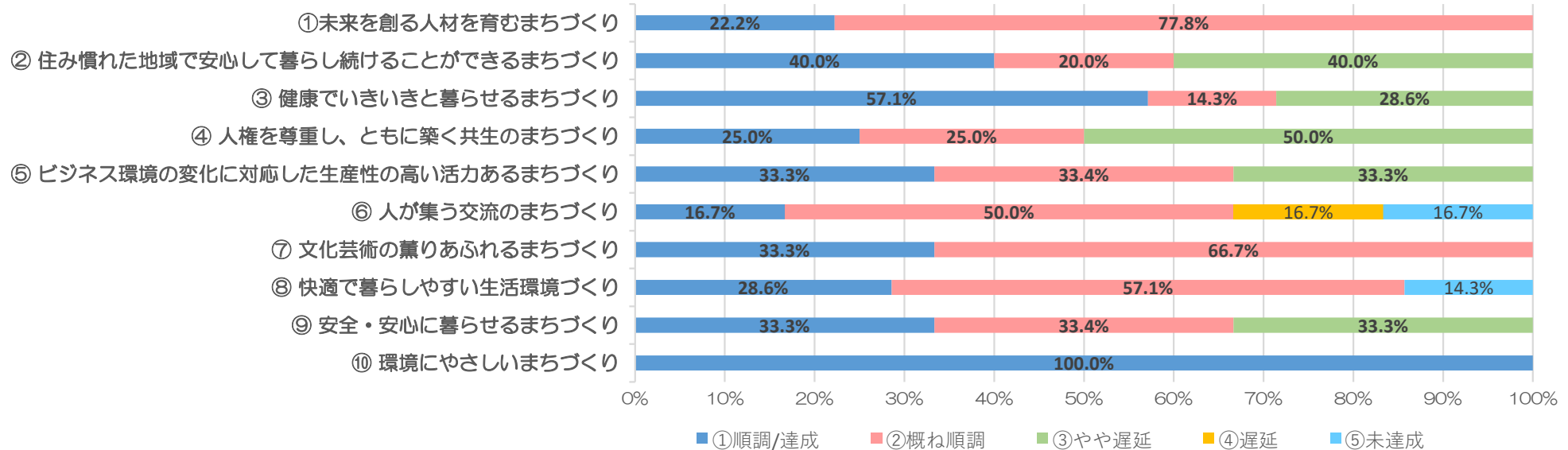


※各年度とも評価対象外の項目は除外

- ①「順調/達成」、②「概ね順調」となった目標の割合は（令和3年度）69.2%から（R5年度）77.3%に増加しており目標達成に向けた取組が着実に進んでいる。
- また、④「遅延」「⑤未達成」の指標も、（令和3年度）15.4%から、（令和5年度）5.7%に減少している。

第1 1次鳥取市総合計画の中間評価について

2 政策分野ごとの達成度 (R5年度)



①順調、②概ね順調の合計が70%に届いていないものの要因

【要因その1】新型コロナウイルス感染症の影響で実績が低迷していた指標については、復調傾向が見られるものの、目標値には達しなかった。

②「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」60.0%（①順調/達成40.0%、概ね順調20.0%）

④「人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり」50.0%（①順調/達成25.0%、概ね順調25.0%）

⑥「人が集う交流のまちづくり」66.7%（①順調/達成16.7% 概ね順調50.0%）

⑨「安全・安心に暮らせるまちづくり」達成率：66.7%（①順調/達成33.3% 概ね順調33.4%）

【要因その2】農林水産業における課題として、担い手不足や従事者の高齢化、資源管理、自然環境による影響が挙げられる。

⑤「ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり」66.7%（①順調/達成33.3% 概ね順調33.4%）

全体評価

- 評価指標の達成状況で確認できるとおり、全体として達成度は着実に向上している。

【要因その1】については、コロナ禍からの回復に伴い、今後さらに数値の改善が見込まれる。【要因その2】については、担い手の確保・育成に向けた取り組み、資源管理、気候変動への対応を進め、持続可能な産業への発展を図る必要がある。その他、達成度が低い指標については、その要因を明らかにし、目標達成に向けた具体的な取り組みを進める。

3 評価結果の概要

まちづくりの目標：誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

① 未来を創る人材を育むまちづくり

未来を担う人材を育むまちづくりとして、出会いから子育てまで切れ目のない支援を展開し、希望するすべての人が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進しています。さらに、教育の充実を図り、思いやりと郷土愛を持つ、たくましく人間性豊かな次世代の育成に取り組んでいます。

主な成果

●児童生徒の地域貢献意識の向上

「NO.7 地域や社会を良くするために何をすべきか考える児童生徒の割合（中学校）」（令和5年度から「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」に変更）

- ・達成率：166.5% [目標値 43.0% 実績値 71.6%]
- ・生徒が体験や活動を通じて地域について学んだり、貢献したりする機会の充実が成果につながっている。

●生涯学習の満足度向上

「NO.10 生涯学習講座の参加者の満足度」

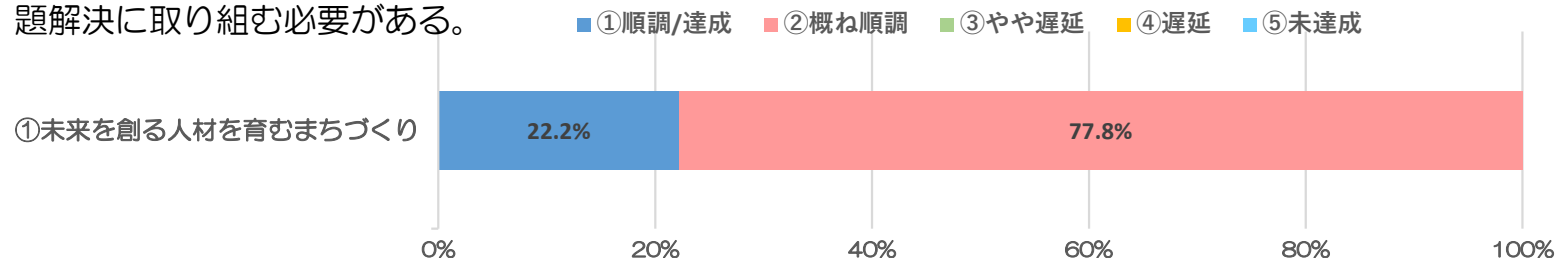
- ・達成率：96.6% [目標値 88.0% 実績値 85.0%]
- ・参加者ニーズを講座内容に反映し、満足度を向上。

課題と今後の方向性

●少子化と若年層の転出

「NO.1 合計特殊出生率」の低下や若年層の転出が依然として課題。

- ・達成率：86.4% [目標値 1.62 実績値 1.40]
- ・少子化の要因を踏まえ、若者の意見を取り入れた実効性のある対策を立案・実施し、長期的視点で課題解決に取り組む必要がある。



まちづくりの目標：誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

② 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、社会保障制度の運営を充実させるとともに、超高齢社会に対応したまちづくりの推進、障がいのある人の自立を支援する取り組みを進めています。

主な成果

●ケアプランの質向上

「NO.14 介護給付適正化事業におけるケアプラン点検実施件数」

- ・達成率：108.4% [目標値 560件 実績値 607件]
- ・多くの事業所で点検を実施し、ケアプランの質向上に貢献。

課題と今後の方向性

●生活保護受給者の就労支援

「NO.12.生活保護受給者就労支援事業に参加し、就労開始となった人数」

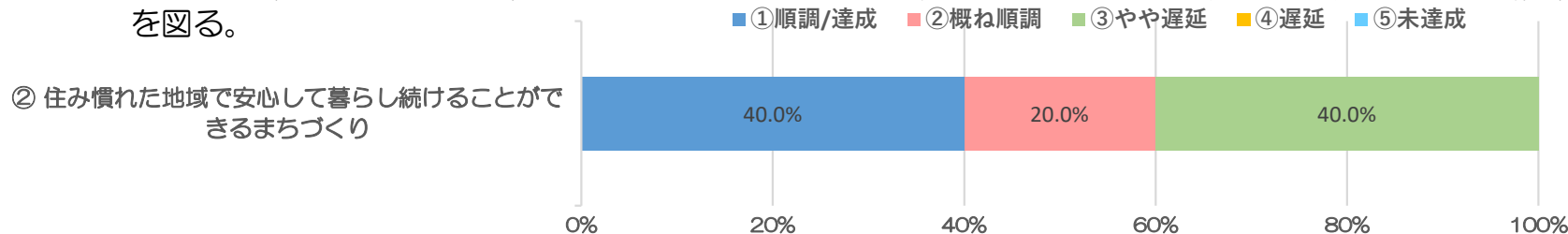
- ・達成率：75.0% [目標値 88人 実績値 66人]
- ・事業を継続してきたことで、就労していない受給者のなかで稼働能力や就労意欲が低い者の割合が相対的に増加してきたことにより、支援が就労に結びつきにくくなっている。

●一般就労への移行支援

「NO.17 一般就労への移行者数」

- ・達成率：65.7% [目標値 35人 実績値 23人]
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に減少したものの、回復傾向にある。

- ・こうした課題に対して関係機関と連携し、一人ひとりの特性に応じたきめ細やかな支援を継続し、被保護者の自立促進を図る。



まちづくりの目標：誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

③ 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

健康でいきいきと暮らせるまちづくりを目指し、ライフステージに応じたスポーツやレクリエーションの推進、生活習慣病予防を通じた健康寿命の延伸に取り組んでいます。また、市民の心と体の健康を守るため、健康診断の実施や健康教育の充実など、健康保持増進に向けた具体的な施策を進めています。

主な成果

●スポーツ活動機会の充実

「NO.24 学校体育館等の延べスポーツ利用者数」

- ・達成率：190.7% [目標値 350,000人 実績値 666,472人]
- ・スマート予約システムの導入により登録団体数が増加し、利用者数が大幅に増加。市民のスポーツ活動の機会が充実。

●健康寿命の順調な延伸

「NO.18,19 健康寿命（65歳以上の平均自立期間）」

- ・達成率：101.8% (NO.18) [目標値 20.96人 実績値 21.33人]
101.3% (NO.19) [目標値 17.87人 実績値 18.10人]
- ・介護予防と健康維持増進の取り組みが効果を上げ、健康寿命が順調に延伸。

課題と今後の方向性

●市民体育祭の参加促進

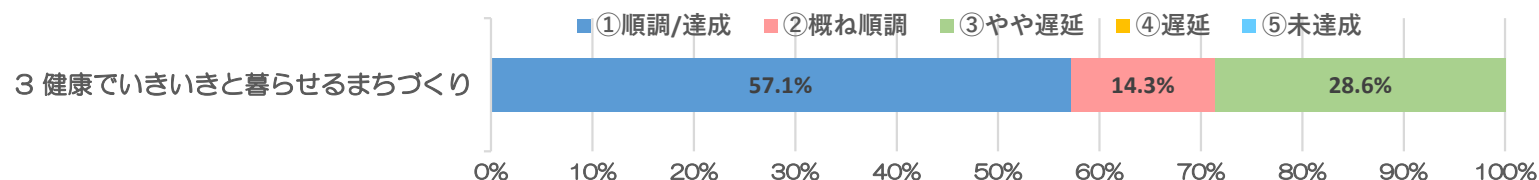
「NO.22 市民体育祭の延べ参加地区数」

- ・達成率：72.9% [目標値 480地区 実績値 350地区]
- ・新型コロナウイルス感染症の影響から回復途上。市民ニーズに呼応した競技の開催など、参加促進の工夫が必要。

●「夢の教室」の実施校数拡大

「NO.23 こころのプロジェクト『夢の教室』実施校数」

- ・達成率：72.2% [目標値 18校 実績値 13校]
- ・事業の周知を強化し、学校では学べない貴重な体験を通じて、夢を持つ大切さや協力する力を育む機会を創出する必要がある。



まちづくりの目標：誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

④ 人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり

人権を尊重し支え合う共生社会を目指し、互いを認め合う意識の醸成や人権啓発活動を推進しながら、共生のまちづくりに取り組んでいます。

主な成果

●地域食堂の設置拡大

「NO.30 地域食堂の設置校区数」

- 達成率：106.7% [目標値 15校区 実績値 16校区]
- 各中学校区において、子どもの貧困や高齢者等の孤独を防止する居場所として、また、地域の多世代が繋がる交流拠点として機能している。

課題と今後の方向性

●小地域懇談会の開催回数

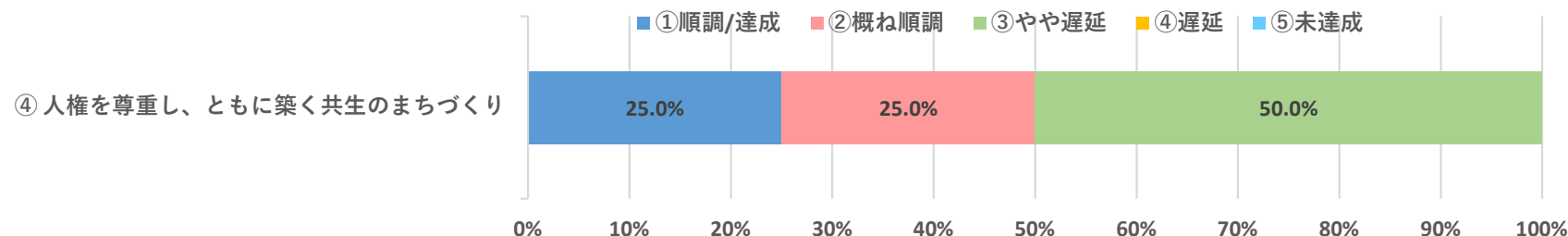
「NO.26 小地域懇談会の開催回数」

- 達成率：67.5% [目標値 535回 実績値 361回]
- 新型コロナウイルス感染症の影響で対面開催や学習の機会が減少していたが、徐々に改善傾向にある。

●共生型サービスの事業者数

「NO.31 共生型サービスの実施事業者数」

- 達成率：62.5% [目標値 8事業者 実績値 5事業者]
- 利用者の減少などによる事業廃止が要因。事業者の集団指導等を通じて事業の周知を図るとともに、アンケート調査などの実施によって事業者の意識や実態を把握し、事業者数の増加につなげる。



まちづくりの目標：人が行きかい、にぎわいあふれるまち

⑤ ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり

ビジネス環境の変化に対応し、地域経済の活性化を目指して、地元企業支援や成長産業の企業誘致を進め、地域産業の競争力強化と労働生産性の向上に取り組んでいます。また、人材育成や確保、新規創業・就農支援を充実させ、地域の特性を活かした産業の高度化を推進しています。

主な成果

●大学生の県内就職率の向上

「NO.36 大学生県内就職率」

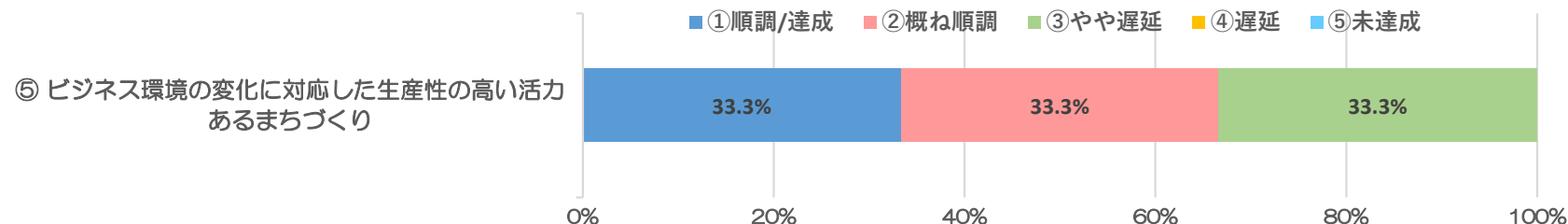
- ・達成率：82.7% [目標値 26.6% 実績値 22.0%]
- ・県内2大学の県内企業就職率が3年連続で増加。コロナ禍前後で学生の地元志向・地元就職への意識が高まったことが要因。引き続き、県やふるさと定住機構と連携し、県内就職率のさらなる向上を図る。

課題と今後の方向性

●市内漁獲量の維持

「NO.41 市内漁獲量」

- ・達成率：77.1% [目標値 2,203 t 実績値 1,698 t]
- ・漁獲量の調整を伴う資源管理への対応や担い手の育成を強化し、漁獲量の維持を図る必要がある。



まちづくりの目標：人が行きかい、にぎわいあふれるまち

⑥ 人が集う交流のまちづくり

地域資源の魅力を活かし、国内外への知名度向上を図ることで、多くの観光客や移住希望者、若者、外国人が訪れ、住んでみたいと思えるまちづくりを推進しています。また、他自治体との連携を強化し、相互発展を目指した取り組みを進めています。

主な成果

●観光入込客数の回復

「NO.44 観光入込客数」

- ・達成率：102.0% [目標値 305万人 実績値 311万人]
- ・コロナ後を見据えた情報発信体制の強化や観光客の受入環境づくりに取り組んだことにより、コロナ前の令和元年度を超える数値となった。

●移住定住者数の順調な推移

「NO.42 移住定住者数」

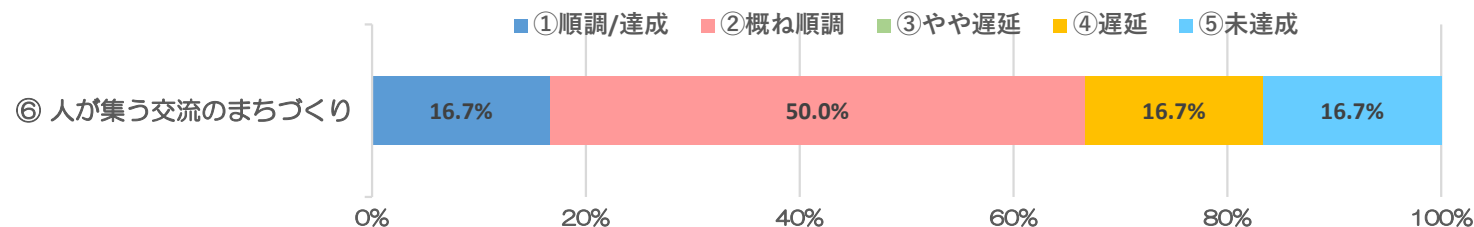
- ・達成率：95.2% [目標値 1,440人 実績値 1,371人]（令和3～5年度累計）
- ・移住者数は概ね順調に推移し、特に若者・子育て世代の割合が高い。移住定住ポータルサイトでの情報発信が効果を上げている。

課題と今後の方向性

●民間団体による交流件数の低迷

「NO.49 民間団体による交流件数」

- ・達成率：50.0% [目標値 6件 実績値 3件]（令和3～5年度累計）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により交流自粛の影響が続いたことが要因だが、交流活動は徐々に回復しつつある。交流人口拡大に向けて、交流事業の再開と促進を図る必要がある。



まちづくりの目標：人が行きかい、にぎわいあふれるまち

⑦ 文化芸術の薫りあふれるまちづくり

市民が文化芸術に親しみやすい環境を整え、伝統芸能や伝統文化の保存・継承を進めています。また、文化財の保護と活用を通じて、郷土の誇りである魅力的な鳥取文化を次世代に伝える取り組みを行っています。

主な成果

●文化芸術鑑賞者数の増加

「NO.51 文化芸術鑑賞者数」

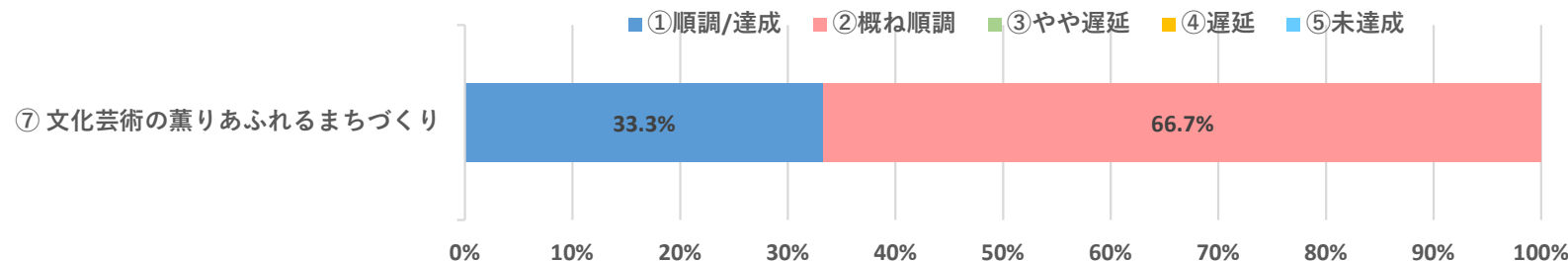
- ・達成率：129.0% [目標値 44,000人 実績値 56,780人]
- ・文化芸術イベントへの支援拡充や市民の意識向上により、目標を上回る鑑賞者数を達成。

課題と今後の方向性

●文化財関連施設の入館者数の増加

「NO.53 主な文化財関連施設への入館数・指定文化財等の見学者数」

- ・達成率：85.0% [目標値 144,000人 実績値 122,397人]
- ・施設の休館等があったが、入館者数は増加している。魅力的な展覧会の開催や関連イベントを企画し、入館者数の増加につながる取り組みを継続的に進める。



まちづくりの目標：人が行きかい、にぎわいあふれるまち

⑧ 快適で暮らしやすい生活環境づくり

快適で暮らしやすい生活環境を整えるため、公園や住宅、道路、上下水道などの生活基盤の整備を進めています。さらに、都市機能が集積する中心市街地の活性化や、中山間地域の生活拠点を中心とした振興に取り組み、持続可能な生活交通の確保や地域情報化を推進しています。

主な成果

●小さな拠点の形成促進

「NO.59 小さな拠点の形成箇所数」

- ・達成率：133.3% [目標値 3箇所 実績値 4箇所]
- ・地域住民が主体となり、将来にわたり安心して暮らせる地域づくりが進展。

●公共下水道の整備

「NO.55 公共下水道整備率」

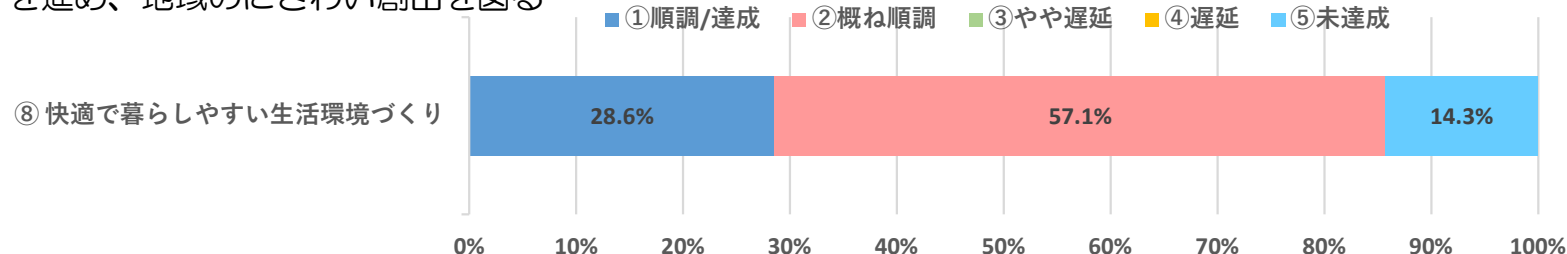
- ・達成率：99.9% [目標値 96.7% 実績値 96.6%]
- ・下水道未普及地域の管渠整備が概ね順調に進行。

課題と今後の方向性

●中心市街地の居住人口の減少

「NO.56 中心市街地の居住人口の社会増減数」

- ・未達成 [目標値：1人以上（社会増）／実績値：-62人（社会減）]
- ・令和3年度までは社会増が続いていたが、令和4年度以降は社会減が継続。
- ・居住人口増加に向けた取り組みを強化するとともに、中心市街地の活性化策としてイベント開催や魅力的な施設の提供を進め、地域のにぎわい創出を図る



まちづくりの目標：人が行きかい、にぎわいあふれるまち

⑨ 安全・安心に暮らせるまちづくり

市民が協力し合い、防災力の向上・防犯・交通安全対策の強化や安全な消費生活の確保に取り組み、暮らしの安全を守る環境づくりを進めています。

主な成果

●交通事故件数の減少

「NO.66 市内で発生した当該年の交通事故件数」

- ・達成 目標値：222件／実績値：195件
- ・関係機関と連携した交通事故防止に向けた啓発活動が成果に繋がり、目標を達成。

●自主防災会による防災訓練の再開

「NO.65 自主防災会が実施する防災訓練への活動助成件数」

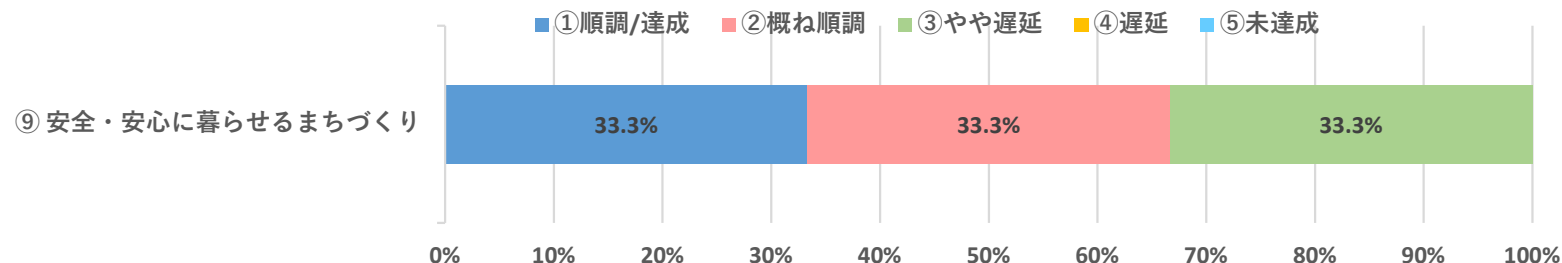
- ・達成率：84.0% [目標値 584件 実績値 491件]
- ・新型コロナウイルス感染症の制約が緩和されたことで自主防災活動が再開され、防災意識向上や共助の強化が進展。

課題と今後の方向性

●消費者啓発事業の実施件数の増加

「NO.67 消費者啓発事業（出前講座・講演会・啓発イベント等）の実施件数」

- ・達成率：64.3% [目標値 56件 実績値 36件]
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、各団体の活動控えが影響。
- ・消費生活プランに基づき、効果的な事業実施方法の検討を進め、継続して取り組む。



まちづくりの目標：豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち

⑩ 環境にやさしいまちづくり

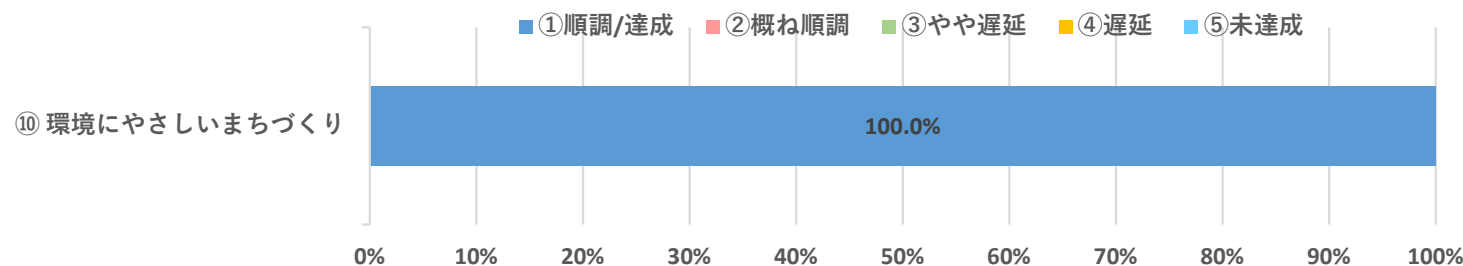
自然環境の保全や循環型社会の構築に取り組み、快適で利便性の高い住みやすい生活環境の実現を目指しています。

主な成果

●ごみの総排出量削減の進展

「NO.69 市内の家庭や事業所から出される一人一日当たりの一般廃棄物の総排出量」

- ・達成率：105.8% [目標値 858g 実績値 822g]
- ・環境教育や啓発活動により、市民の環境意識が向上し、ごみの減量化と再資源化が徹底された。



4. 指標別の評価一覧

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(1101) 結婚・出産・子 育て支援	1	鳥取市の 合計特殊 出生率	一人の女性が一 生に産む子ども の平均数として 算出された当該 年の人口統計上 の数値。	目標値	-	-	-	-	1.57	1.60	1.62	1.65	1.67	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	合計特殊出生率は平成30年以降、概ね1.5前後で推移していたが、令和5年は市試算値で1.40に低下した。この間、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援施策や若者を中心とした定住促進、転出抑制、Uターン促進施策に取り組んできた。 合計特殊出生率低下の社会経済要因として、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数の減少、若年層の転出超過が考えられ、「結婚への意欲・機会の減少」「経済的・生活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難さ」「育児負担の重さ」「魅力的な就業機会の不足」などの影響を受けていると考える。 少子化の要因をしっかりと踏まえて、若者の意見を取り入れた実効性のある各種対策を立案・実施し、長期的な視点で少子化対策に取り組む。 ※令和5年の県内市町村別の合計特殊出生率の県公表は、今年度後半になる見込みのため、評価は市試算値で実施する。	地方創 生推進 室
				実績値	-	1.50	1.48	1.54	1.49	1.55	1.40							
				達成率	%	-	-	-	94.9%	96.9%	86.4%							
	2	「子育て を楽し い」と思 う市民の 割合	当該年度実施の 市民アンケート 調査で中程度の 評価より高い回 答をした市民の 割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	70.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども 未来課
				実績値	%	-	66.0	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					
	3	「子育て しやすい 環境」と 思う市民 の割合	当該年度実施の 市民アンケート 調査で「子育て しやすい（子育 てしやすかつ た）」と回答を した市民の割 合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども 未来課
				実績値	%	-	61.5	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					
(1102) 教育の充実・郷 土愛の醸成	4	将来の夢 や目標を 持っている 児童生徒 の割合（小学 校）	「全国学力・学 習状況調査児童 生徒質問紙調 査」で、「将来 の夢や目標を 持っているか」 の質問に、「当 てはまる」「ど ちらかと言えば 当てはまる」と 回答した割合	目標値	%	-	-	-	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	「将来の夢や目標を持っているか」の質問に、「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合は、平成30年度以降は概ね80%となっている。児童が学校での諸活動により、自分の将来について前向きに考えられるようになっていると考えられる。 今後もより割合が高くなるよう、児童が主体的に自分の将来についても考えられるような学習を展開していく。	学校教 育課
				実績値	%	82.3	81.6	調査なし	77.4	81.4	79.9							
				達成率	%	-	-	-	90.0%	93.6%	90.8%							
	5	将来の夢 や目標を 持っている 児童生徒 の割合（中学 校）	「全国学力・学 習状況調査児童 生徒質問紙調 査」で、「将来 の夢や目標を 持っているか」 の質問に、「あ てはまる」「ど ちらかと言えば あてはまる」と 回答した割合	目標値	%	-	-	-	72.0	73.0	74.0	75.0	76.0	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	「将来の夢や目標を持っているか」に「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合は、コロナ禍以降70%を下回っており、職場体験学習の縮小等が影響していると考えられる。 職場体験だけでなく、探究型学習や地域課題解決型のプロジェクトなど多様な手法によるキャリア教育を推進し、子どもたちが将来の夢や目標を持てる環境づくりに努めていく。	学校教 育課
				実績値	%	72.4	71.2	調査なし	65.9	65.9	67.2							
				達成率	%	-	-	-	91.5%	90.3%	90.8%							

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(1102) 教育の充実・郷 土愛の醸成	6	地域や社 会を良く するため に何をす べきか考 えること がある児 童生徒の 割合（小 学校）	当該年度実施 の「全国学力・ 学習状況調査児 童生徒質問紙調 査」で、「地域 や社会を良くす るために何をす べきか考えるこ とがある」と回 答した割合。 ※義務教育学 校は、前期課程 と後期課程に分 けて集計。	目標値	%	-	-	-	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	② 概ね順調	② 概ね順調	① 順調	「地域や社会を良くするために何をすべきか考える ことがある」（令和5年度から「地域や社会をよくす るために何かしてみたいと思いますか」に変更）と回 答した児童の割合は年々増加しており、順調である。 今後も児童が体験や活動を通して地域について学ん だり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を 感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを 育んでいく。	学校教育 課
				実績値	%	45.7	46.4	調査なし	50.8	51.3	78.7							
				達成率	%	-	-	-	90.7%	90.0%	135.7%							
	7	地域や社 会を良く するため に何をす べきか考 えること がある児 童生徒の 割合（中 学校）	当該年度実施 の「全国学力・ 学習状況調査児 童生徒質問紙調 査」で、「地域 や社会を良くす るために何をす べきか考えるこ とがある」と回 答した割合。 ※義務教育学 校は、前期課程 と後期課程に分 けて集計。	目標値	%	-	-	-	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	① 順調	① 順調	① 順調	「地域や社会を良くするために何をすべきか考える ことがある」（令和5年度から「地域や社会をよくす るために何かしてみたいと思いますか」に変更）と回 答した児童の割合は年々増加しており、順調である。 今後も生徒が体験や活動を通して地域について学ん だり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を 感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを 育んでいく。	学校教 育課
				実績値	%	38.8	42.0	調査なし	45.9	42.9	71.6							
				達成率	%	-	-	-	112.0%	102.1%	166.5%							
	8	学校が楽 しいと思 う児童生 徒の割合 （小学 校）	当該年度実施 の「鳥取市共通 10項目アンケ ート調査」で「学 校が楽しい」の 質問に「あては まる」「どちら かと言えば当て はまる」と回答 した割合。	目標値	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が 楽しい」の質問に「あてはまる」、「どちらかと言 えば当てはまる」と回答した児童の割合は、約90%を 維持しており、概ね順調である。 今後も、一人一人の教育的ニーズに対応した教育を 基盤とし、「魅力と徹底による学力向上」、「豊かな かわりによる自己有用感の育成」を柱に、すべての 児童生徒が安心して楽しく学校生活を送ったり、学び を深めたりすることができるよう取り組む。	学校教 育課
				実績値	%	89.5	87.8	89.1	89.5	89.5	88.2							
				達成率	%	-	-	-	99.4%	98.4%	95.9%							
	9	学校が楽 しいと思 う児童生 徒の割合 （中学 校）	当該年度実施 の「鳥取市共通 10項目アンケ ート調査」で「学 校が楽しい」の 質問に「あては まる」「どちら かと言えば当て はまる」と回答 した割合。	目標値	%	-	-	-	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が 楽しい」の質問に「あてはまる」、「どちらかと言 えば当てはまる」と回答した児童の割合は、約90%を 維持しており、概ね順調である。 今後も、一人一人の教育的ニーズに対応した教育を 基盤とし、「魅力と徹底による学力向上」、「豊かな かわりによる自己有用感の育成」を柱に、すべての 児童生徒が安心して楽しく学校生活を送ったり、学び を深めたりすることができるよう取り組む。	学校教 育課
				実績値	%	86.9	88.3	89.3	87.5	89.7	89.4							
				達成率	%	-	-	-	98.3%	99.7%	98.2%							
(1103) 生涯学習の推進	10	生涯学習 講座の参 加者の満 足度	当該年度実施 の生涯学習講座 参加者アンケ ートで、受講内 容について「大変 満足」または 「満足」と回答 した参加者の割 合。	目標値	%	-	-	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0	② 概ね順調	① 順調	② 概ね順調	コロナ禍の影響があり、参加者数の減少や講座の中 止を行った時期もあったが、講座の実施方法の見直し やアンケートから得た参加者の意見を参考にし、時勢 とニーズに合わせた生涯学習講座の推進に取り組んで いる。生涯学習講座参加者の満足度については概ね順 調である。課題としては、参加者の固定化の傾向がみ られるため、参加者のニーズの積極的な取り込みや新 規参加者層の獲得を目指し、満足度を向上させる。	生涯学 習・ス ポーツ 課
				実績値	%	-	83.0	57.0	83.3	92.0	85.0							
				達成率	%	-	-	-	98.0%	105.7%	96.6%							
	11	市民1人 あたりの 図書貸出 冊数	市民が年間に貸 入利用をする1 人あたりの冊数	目標値	冊	-	-	-	4.8	4.9	5.0	5.1	5.2	② 概ね順調	③ やや遅延	② 概ね順調	目標値は達成していないが、コロナ禍収束により、 来館者数は増加傾向にある。今後も利用者のニーズや 社会情勢をとらえながら選書を行い、必要な資料の整 備を行うなどし、目標達成に繋げたい。	中央図 書館
				実績値	冊	4.6	4.7	3.7	4.2	3.9	4.3							
				達成率	%	-	-	-	87.5%	79.6%	86.0%							

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】②住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(1201) 安心できる社会 保障制度の運営	12	生活保護 受給者就 労支援事 業に参加 し、就労 開始とな った人数	生活保護受給者 就労支援事業に 参加し、就労開 始となった当該 年度の人数。	目標値	人	-	-	-	76	82	88	95	100	③ やや遅延	③ やや遅延	③ やや遅延	就労支援事業所やハローワーク、課内の就労支援員等の連携により、就労を開始する生活保護受給者は増加傾向にある。 しかしながら稼働年齢層の受給者は減少傾向にあり、さらに稼働能力や就労意欲が低い者の割合が非稼働者のなかで増加していることから支援が就労に結びつきにくくなってきており、目標未達の状態が続いている。 新規の稼働年齢層の受給者に対しては原則的に本事業への参加を求め、また受給中の者に対しては引き続き関係機関と連携しながらひとりひとりの特性に応じた支援を行うことで、被保護者の自立に向けた取組を進めていく。	生活福 祉課
				実績値	人	-	70	49	54	56	66							
				達成率	%	-	-	-	71.1%	68.3%	75.0%							
	13	鳥取市国民健康保 険におけるジェネ リック医薬品の普 及率	厚生労働省が発表する、鳥取市国民健康保険における薬剤に占める当該年度のジェネリック医薬品の数量ベースによる普及割合。	目標値	%	-	-	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	鳥取市国民健康保険におけるジェネリック医薬品の普及率は、目標値に対して計画とおりに推移しており、国保事業会計の安定化にもつながっている。 残り計画期間においても、引き続き、医療費の適正化や被保険者の医療費の負担軽減につなげるため、啓発事業などを通して、ジェネリック医薬品の普及を促進していく。	保険年 金課
				実績値	%	-	79.6	80.9	80.6	81.2	82.8							
				達成率	%	-	-	-	99.5%	99.0%	99.8%							
	14	介護給付 適正化事 業におけるケアプ ラン点検 実施件数	ケアプラン点検 を行った当該年 度のプラン件 数。	目標値	件	-	-	-	490	490	560	560	580	③ やや遅延	① 順調	① 順調	新型コロナウイルスの影響で事業所訪問をできない時期もあったが、市内の居宅介護支援事業所の9割のケアプラン点検をするなど、3か年を通しての件数は目標を達成している。 引き続き、ケアプランの質の向上に向けて取り組みを実施する。	長寿社 会課
				実績値	件	-	528	190	348	805	607							
				達成率	%	-	-	-	71.0%	164.3%	108.4%							
(1202) 超高齢社会に向 けたまちづくり の推進	15	高齢者福祉関係の 市民満足 度指数の 平均値	当該年度実施の 市民アンケート 調査において、 住みやすさに関 する満足度指数 のうち高齢者福祉3項目の指数 の平均値（最大5P）	目標値	ポイント	-	-	-	-	-	-	3.00	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	令和5年度に第9期（令和6～8年度）介護保険事業計画・高齢者福祉計画を策定した。今後も持続可能な介護保険制度の構築、各高齢者福祉事業の取り組みを進めていく。	長寿社 会課
				実績値	ポイント	-	2.97	-	-	-	-							
				達成率	%	-	-	-	-	-	-							
(1203) 障がいのある人 の自立支援	16	一般相談 支援事務 所の相談 員数	相談支援体制の 充実に向けた一 般相談支援専門 員の当該年度末 の人数。	目標値	人	-	-	-	19	19	19	20	20	① 順調	① 順調	① 順調	障がいのある人やその家族の抱える様々な困りごとへの相談対応や多岐にわたる障害福祉サービスの調整等を図ることに貢献した。 障がいのある人を取り巻く状況は、近年複雑化、多様化しており、困難事例に対応するべく、相談支援専門員の質の向上が求められている。 今後も必要となる一般相談支援専門員の人員を確保し、相談支援体制の充実強化を図っていきたい。	障がい 福祉課
				実績値	人	-	16	19	19	20	20							
				達成率	%	-	-	-	100.0%	105.3%	105.3%							
	17	一般就労 への移行 者数	就労サービス 利用から一般就 労へ移行した人 の当該年度の人 数。	目標値	人	-	-	-	35	35	35	35	35	④ 遅延	④ 遅延	③ やや遅延	コロナ禍で一般就労移行者数も落ち込んでいたが、コロナ前の実績に回復しつつある。 一般就労に移行可能な障がいのある人に対して、適切な就労アセスメントが実施される必要がある。 今後も福祉施設から一般就労への移行に向け、関係団体が連携し取組を進めていききたい。	障がい 福祉課
				実績値	人	-	27	22	18	12	23							
				達成率	%	-	-	-	51.4%	34.3%	65.7%							

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(1301) 健康づくり・疾 病予防・介護予 防の推進	18	健康寿命 （65歳 以上の平 均自立期 間）（女 性）	当該年度の日常 生活動作が自立 している（要介 護度2未満）期 間の平均。	目標値	年	-	-	-	20.86	20.91	20.96	21.01	21.06	① 順調	① 順調	① 順調	新型コロナウイルス感染症の影響禍においても、3 か年を通して目標を達成できた。 今後も新型コロナウイルスによる影響が考えられるが、引き 続き介護予防・健康の維持増進につながる取り組み を実施する。	長寿社 会課
				実績値	年	-	20.76	21.07	21.03	21.74	21.33							
				達成率	%	-	-	-	100.8%	104.0%	101.8%							
	19	健康寿命 （65歳 以上の平 均自立期 間）（男 性）	当該年度の日常 生活動作が自立 している（要介 護度2未満）期 間の平均。	目標値	年	-	-	-	17.71	17.79	17.87	17.95	18.03	② 概ね順調	① 順調	① 順調	新型コロナウィルス感染症の影響禍においても、3か 年を通して概ね目標を達成することができた。 今後も新型コロナウイルスによる影響が考えられるが、引き 続き介護予防・健康の維持増進につながる取り組み を実施する。	長寿社 会課
				実績値	年	-	17.55	17.63	17.57	18.06	18.10							
				達成率	%	-	-	-	99.2%	101.5%	101.3%							
(1302) 安全・安心のため の保健衛生と医 療の推進	20	重点監視 施設の監 視率	鳥取県東部圏域 食品衛生監視指 導計画に基づく 重点監視施設の 監視割合。	目標値	%	-	-	-	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	⑥ 未達成	⑥ 未達成	① 達成	鳥取県東部圏域食品衛生監視指導計画に基づき、施 設の設置及び申請手続きの指導や、HACCPに沿った 衛生管理の適正な指導、流通食品の安全性の検証など により、食の安全性の確保に繋がった。 今後も計画に沿って、計画的かつ効果的な監視指導 を実施し、衛生管理の向上に努め、住民の食の安全を 確保する。	生活安 全課
				実績値	%	-	119.5	126.0	95.1	94.6	101.4							
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成	達成							
	21	保護収容 動物の返 還及び譲 渡率	鳥取市保健所で 保護収容した愛 玩動物を飼い主 又は新しい飼い 主に引き渡した 割合。	目標値	%	-	-	-	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	① 順調	① 順調	② 概ね順調	令和5年度の返還・譲渡率は令和3年度及び令和4 年度と比較して大幅に減少した。これは、傷病動物の 収容が多く、収容後に死亡したものや、生存させるこ とが苦痛を長引かせると判断し、安楽死を行った頭数 が多かったことによる。 新型コロナウイルスの5類化に伴い、直営の譲渡会 を3年ぶりに開催し、譲渡につながっている。譲渡会 は多くの方に直接動物を見ていただく良い機会である ため、今後も継続して開催し、譲渡の促進に努める。	生活安 全課
				実績値	%	-	57.8	63.9	74.1	71.8	50.7							
				達成率	%	-	-	-	121.5%	115.8%	80.5%							
(1303) スポーツ・レク リエーションの 振興	22	市民体育 祭の延べ 参加地区 数	当該年度の市民 体育祭に参加し た延べ地区数。	目標値	地区	-	-	-	460	470	480	490	500	④ 遅延	④ 遅延	③ やや遅延	新型コロナウイルスの影響により大きく減少した参 加校区数が、回復してきている。市民ニーズに呼応し た競技を開催するなど、より多くの校区・市民が参画 できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提 供するとともに地域活性化を図っていく。	生涯学 習・ス ポーツ 課
				実績値	地区	-	452	大会中止	141	244	350							
				達成率	%	-	-	-	30.7%	51.9%	72.9%							
	23	こころの プロジェクト「夢 の教室」 実施校数	功績を残したア スリートを招い た出前授業（小 学校5年生、中 学校2年生対 象）の当該年度 の実施校数。	目標値	校	-	-	-	16	16	18	18	20	③ やや遅延	③ やや遅延	③ やや遅延	コロナ禍によるオンライン形式から、対面授業形式 に戻ったことにより、実施校数が回復傾向にある。よ り多くの学校で実施できるよう事業の周知に努め、学 校で学ぶことができない貴重な体験をすること、夢 を持つことや仲間と協力することの大切さ等を学ぶ機 会を創出していく。	生涯学 習・ス ポーツ 課
				実績値	校	-	14	10	12	11	13							
				達成率	%	-	-	-	75.0%	68.8%	72.2%							
	24	学校体育 館等の延 べスポー ツ利用者 数	学校施設開放に よる小中学校体 育館等の当該年 度の延べ一般利 用者数。	目標値	人	-	-	-	350,000	350,000	350,000	700,000	700,000	① 順調	① 順調	① 順調	令和5年度より新型コロナウイルスが5類へ移行に なったことや、登録団体数の増加に伴い、学校施設の 利用者数が増加傾向にある。今後もより多くの市民に 利用していただけるよう制度を整えていく。	生涯学 習・ス ポーツ 課
				実績値	人	-	344,804	279,704	442,432	438,624	667,472							
				達成率	%	-	-	-	126.4%	125.3%	190.7%							

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】④人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり

20

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(1401) 人権擁護の推進 と人権意識の醸 成	25	「人権が 尊重されて いるまち」 と思う市民 の割合	当該年度実施の 市民アンケート 調査において 「満足」または 「やや満足」と 回答をした市民 の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	本市の人権施策の基本的な考え方や方向性を示す 「鳥取市人権施策基本方針」の第3次改訂に沿い、人 権擁護の推進、人権意識の高揚を図る取組、地域共生 に向けた取組を行う。	人権推 進課
				実績値	%	-	39.5	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-					
	26	各地区に おける小 地域懇談 会の開催 回数	各地区同和教育 推進協議会等が 開催する地域住 民を対象とした 小地域懇談会の 当該年度の開催 回数	目標値	回	-	-	-	300	430	535	550	560	④ 遅延	④ 遅延	③ やや遅延	コロナ禍では、開催時期や方法を見直し、取組を継 続してきた。今後も、学習教材（人権啓発資料や人権 啓発用視聴覚教材（DVD等））に関する情報提供 や、本市人権教育推進員の派遣などを行い、各地区同 和教育推進協議会等の活動を支援していく。	人権推 進課
				実績値	回	-	535	198	172	209	361	-	-					
				達成率	%	-	-	-	57.3%	48.6%	67.5%	-	-					
(1402) 男女共同参画社 会の形成	27	「社会全 体で男女 の地位が 平等に なってい る」と思 う割合	当該年度実施の 男女共同参画に 関する意識調査 で「社会全体で 男女の地位が平 等になっている と思う」と回答 した市民の割 合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	-	30.0	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	男女共同参画に関する市民意識調査は5年ごと に行っており、次回調査は令和6年度に行うこととし ている。これにより実態把握し、男女共同参画かがやき プラン策定につなげる。プランの策定により、男女共 同参画施策を効果的に推進する。 男女共同参画意識の醸成を図るため、男女共同参画 センターでの啓発講座や出前講座、パネル展示の実施 など、あらゆる機会を通じた啓発活動に取り組む。	男女共 同参画 課
				実績値	%	-	15.7	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-					
	28	市の審議 会等にお ける女性 委員の割 合	市の審議会委員 への女性登用 率。	目標値	%	-	-	-	30.7	33.1	35.5	37.9	40.0	① 順調	② 概ね順調	② 概ね順調	目標値に達成していない理由の一つとして、専門性 の高い審議会においては、役職による委嘱や、性別に よる人選が難しいことが挙げられる。審議会等の政 策・方針決定過程における女性の参画推進に取り組 む。男女共同参画課が所管する「鳥取市女性人材バン ク」登録者を増やす取組や、活用を周知するなど、委 員の更新時等に女性委員の積極的な選任に努めてい ただけよう庁内に周知する。	男女共 同参画 課
				実績値	%	-	30.3	30.7	31.5	31.0	30.8	-	-					
				達成率	%	-	-	-	102.6%	93.7%	86.8%	-	-					
(1403) 地域福祉の推進	29	福祉ボラ ンティア 活動に参 加した市 民の割合	当該年度実施 の市民アンケ ート調査にお いて、「過去1年 に福祉ボラン ティア活動に参 加した」と回答 した市民の割 合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	8.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査に より実績値を把握する。 今後も地域共生社会の実現に向けて、地域福祉を推 進する施策を継続して実施していく。	地域福 祉課
				実績値	%	-	7.2	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-					
	30	地域食堂 の設置校 区数	「地域食堂」が 設置されている 中学校区及び義 務教育学校区の 当該年度末の 数。	目標値	校区	-	-	-	11	13	15	16	17	① 順調	① 順調	① 順調	今年度中にすべての中学校区に「地域食堂」を設置 できる見込みである。 今後も引き続き、支援団体のさらなる拡充や「地域 食堂」に対する側面的な支援を実施していく。	人権推 進課
				実績値	校区	-	9	11	11	14	16	-	-					
				達成率	%	-	-	-	100.0%	107.7%	106.7%	-	-					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(1403) 地域福祉の推進	31	共生型サービスの実施事業者数	介護保険と障害福祉のサービスを同一事業所で提供を受けられる「共生型サービス」の当該年度末の実施事業者数。	目標値	事業者	-	-	-	7	8	8	9	10	② 概ね順調	③ やや遅延	③ やや遅延	共生型サービスの事業者は利用者の減少などにより事業廃止となった事業者があるなど減少傾向にある。引き続き、事業者の集団指導等を通じて事業の周知を図るとともに、アンケート調査の実施など事業者の意識や実態を把握し、事業者の増加につながるよう努めていく。	地域福祉課指導監査室
				実績値	事業者	-	7	7	6	6	5							
				達成率	%	-	-	-	85.7%	75.0%	62.5%							
(1404) 多文化共生のまちづくりの推進	32	国際的な交流の機会・場所に対する重要度	当該年度実施の市民アンケート調査において、重要度が「高い」または「やや高い」と回答をした市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、留学生など外国人住民が増加傾向であることを踏まえ、多様な人材の受け入れに向けて、外国人を含めたすべての住民にとって暮らしやすいまちづくりを実現する必要がある。 市役所職員向け「やさしい日本語」研修会の実施や市公式ホームページで行政情報を「やさしい日本語」で発信するなど、外国人住民が本市で生活しやすい環境づくりに努めた。また、国際交流員による国際理解講座や料理教室の開催を通して市民の国際理解の醸成を図るなど、多文化共生のまちづくりに寄与した。 引き続き、関係団体や外国人支援団体などと連携しつつ、やさしい日本語・多言語による情報提供の充実や、各種講座・交流イベントの開催による相互理解の推進に取り組むことにより、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課
				実績値	%	-	42.9	-	-	-	-		-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					
(1405) 協働のまちづくりの推進	33	地域活動に参加したことがある市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	75.0	-	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 引き続き、地域活動の推進や地域共生社会の実現に向け、市報やホームページなどでの啓発活動に取り組んでいく。	協働推進課
				実績値	%	-	71.5	-	-	-	-		-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					
	34	地域内における住民同士のつながり	当該年度実施の市民アンケート調査で「近所付き合いがある」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	80.0	-	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 引き続き、地域コミュニティ活動の維持・向上につながる地域運営組織活動支援事業やコミュニティ活動支援事業などの施策を進める。	協働推進課
				実績値	%	-	76.6	-	-	-	-		-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】⑤ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(2101) 持続可能な経済 成長の実現	35	就業者1人あたりの市内GDP	就業者1人当たりの当該年度の市町村内総生産（名目）の本市の値。	目標値	千円	-	6,800	6,970	7,140	7,310	7,478			⑤ 評価対象外	② 概ね順調	② 概ね順調	多くの業種がコロナの影響を受けたが、令和3年度は前年度より増加し、コロナ前の水準に戻っている。今後は企業において労働生産性向上による生産量の増加が期待される。	経済・雇用戦略課
				実績値	千円	6,710	調査未実施	6381	6755									
				達成率	%	-	-	91.5%	94.6%									
	36	大学生県内就職率	当該年度の県内2大学（学部卒）の全就職内定者のうち県内就職内定率。	目標値	%	-	-	-	25.0	25.8	26.6	27.4	28.2	③ やや遅延	② 概ね順調	② 概ね順調	県内2大学における県内企業就職率は、3年連続で増加した。コロナ禍を受け、学生の地元就職意向が高まったものと考えられる。 一方で、人手不足を背景に、初任給を大幅に引き上げるなど、大手企業の採用活動が激化している。 引き続き、県やふるさと定住機構と連携を図り、学生が県内企業や地域の良さを知る機会を創出し、県内就職率の向上に努めていく。	経済・雇用戦略課
				実績値	%	23.4		17.2	17.7	21.3	22.0							
				達成率	%	-	-	-	70.8%	82.6%	82.7%							
(2102) 工業の振興	37	市内製造品出荷額等	当該年の経済構造実態調査（製造業事業所調査※経済産業省）による製造品出荷額等の本市の値。	目標値	億円	-	2,726	2,617	2,669	2,749	2,867			② 概ね順調	① 順調	① 順調	物価高騰や人件費の上昇など地元製造業を取り巻く環境は依然厳しい状況にある中で、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具製造業などが増加した。新型コロナウイルス感染症を契機とした生産拠点や調達先などの国内回帰の動きが要因であると考えられる。 引き続き、経済情勢や企業ニーズに対応した支援策を検討し、積極的な企業支援を行っていく。	企業立地・支援課
				実績値	億円	2,811	2,707	2,649	2,971									
				達成率	%	-	99.3%	101.2%	111.3%									
(2103) 商業とサービス業等の振興	38	市内事業所数	当該年の経済センサス（基礎・活動）調査における事業所数の本市の値。	目標値	件	-	-	-	8,882	-	-	9,018	-	⑤ 評価対象外	② 概ね順調	⑤ 評価対象外	コロナ禍は収束したが、近年の原材料等の物価高騰や賃上げ等による人件費増加が経営を圧迫しており、価格転嫁が進まず経営状況が悪化している事業所が多い状況にある。 引き続き、経済団体と連携しながら、新規創業（起業）に対する支援や働き方改革の推進・人材育成支援等を行い、事業における生産性の向上を図っていく。 ※令和4年度以降は経済センサス活動調査の調査対象外年度であるため令和3年度の実績値により評価を実施。	経済・雇用戦略課
				実績値	件	-	9,996	-	8,537	-	-		-					
				達成率	%	-	-	-	96.1%	-	-		-					
(2104) 農林水産業の成長産業化	39	市内農業産出額	農林水産省が生産農業所得統計により推計した当該年の市町村別農業産出額の本市の値。	目標値	億円	-	-	130	130	136	143	150		① 順調	① 順調	① 順調	令和6年度の目標額に向け、単年度目標を順調に達成してきたが、新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵襲等国際情勢の影響による、米価の下落や燃油、生産資材の高騰が本市の農業にも影響を及ぼし、市内農業算出額の伸びが減速してきた。 外部要因に大きく影響を受けるところだが、スマート農業の導入や担い手の育成、ブランド農畜産物や高収益作物の生産促進等の施策を着実に推進させ、指標達成にむけ取り組んでいく。	農政企画課
				実績値	億円	129	152	152	140	140								
				達成率	%	-	-	116.9%	107.7%	102.9%								
	40	市内木材搬出量	当該年度の林業経営体の経営計画に基づく市内の間伐木材搬出量。	目標値	m ³	-	-	-	43,303	45,478	47,652	49,826	52,000	② 概ね順調	③ やや遅延	③ やや遅延	伐期を迎えた森林の増加により、間伐から主伐に森林整備が転換されてきている傾向が近年見られてきている。 今後も同様な達成率が見込まれることが予想される。間伐、主伐、再造林の動向を見極め林業事業者等への今後必要な支援をあらためて検討し、木材搬出量の増加や森林整備の推進を図る。	林務水産課
				実績値	m ³	-	38,955	39,381	34,015	33,309	34,833							
				達成率	%	-	-	-	78.6%	73.2%	73.1%							
	41	市内漁獲量	当該年の海水面漁業の市内漁獲量。	目標値	t	-	-	-	2,203	2,203	2,203	2,203	2,203	② 概ね順調	② 概ね順調	③ やや遅延	令和5年の減少は、ズワイガニ漁が時化や資源管理の影響で減少したことが主な要因と考えられている。 持続可能な漁業が行えるよう資源管理を行いながら、引き続き担い手の確保・育成に努め、漁獲量の維持に取り組んでいく。	林務水産課
				実績値	t	-	2,203	2,127	1,968	1,793	1,698							
				達成率	%	-	-	-	89.3%	81.4%	77.1%							

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】⑥人が集う交流のまちづくり

23

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(2201) ふるさと・いな か回帰の促進	42	移住定住 者数	R3～7年度に本 市に移住した人 数の累計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	480	480	480	480	480	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	令和3年度から5年度まで、コロナ禍における地方 移住の流れもあり、本市への移住者数は概ね順調に推 移してきているといえる。 今後も情報発信や丁寧な相談対応に努めるととも に、ワーケーション事業等の県外企業に働きかける取 組、市内高校生や県外に進学した学生に対する取組な ど、各部局の事業と連携を取りながら、様々なチャン ネルを通じて移住定住を促進していきたい。	地域振 興課
				目標値 (累計)	人	-	-	-	480	960	1440	1920	2400					
				実績値 (単年)	人	461	359	389	462	458	451							
				実績値 (累計)	人	-	-	-	462	920	1371							
				達成率	%	-	-	-	96.3%	95.8%	95.2%							
	43	高校生の 鳥取市へ の定住意 向	高校3年生を対 象とした当該年 度実施のアン ケート調査で、 「将来的には、 鳥取市に定住し たい」と回答し た割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	40.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査に より実績値を把握する。 本市の人口は、出生数の減少による自然減に加え、 転出超過による社会減が進行し、特に若い世代の県外 流出が続いており、次代の鳥取市を担う若者の定着 は、喫緊の課題となっている。若者定着のために、地 元企業への就職につながる取組や地元の魅力を発見す る活動に対する支援等を実施し、若者の定住につなげ ていく。	政策企 画課
				実績値	%	-	33.9	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-					
(2202) 滞在型観光の推 進	44	観光入込 客数	県が発表する 「鳥取砂丘・い なば温泉郷周 辺」の年間観光 入込客数。	目標値	万人	-	-	298	300	302.5	305	307.5	310	③ やや遅延	② 概ね順調	① 順調	令和3～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響 もあり目標値に達することができなかったが、令和5 年の5類移行後、観光需要はインバウンドを中心に回 復傾向にあり、目標値を上回る結果となった。 引き続き、コロナ禍に進めてきたウェブを中心とし た情報発信体制の強化や観光DXの推進、さらには鳥 取砂丘西側整備、鳥取城跡や白兔海岸などの受入環境 づくりに取り組むことで、観光客数のさらなる増加と 滞在型観光への転換を図っていきたい。	観光・ ジオ パーク 推進課
				実績値	万人	269	295	170	187	243	311							
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%	102.0%							
	45	外国人宿 泊者数	市内の主要宿泊 施設の年間外国 人宿泊者数。	目標値	人	-	-	33,500	33,800	34,100	34,400	34,700	35,000	④ 遅延	④ 遅延	② 概ね順調	令和3～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響 もあり目標値に達することができなかったが、令和5 年の5類移行後、観光需要はインバウンドを中心に回 復が顕著となった。 特に令和5年度に運行を再開した外国人観光客対象 の格安高速バスをはじめ、周遊観光タクシーなどは本 市への誘客に有効な取組であることから、今後もさら なるインバウンド需要の獲得に向け、情報発信や受入 態勢の強化に取り組んでいきたい。	観光・ ジオ パーク 推進課
				実績値	人	-	33,041	2,766	1,118	5,318	28,116							
				達成率	%	-	-	-	3.3%	15.6%	81.7%							
(2203) シティセールス の推進	46	市民愛着 度	当該年度実施の 市民アンケート 調査で「本市に 愛着や親しみを 感じている」と 回答した市民の 割合	目標値	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査に より実績値を把握するため、現時点で進捗度を測るこ とはできないが、様々な手法の情報発信により市民の シティプライドを醸成し、市民の鳥取市への愛着度の 向上につなげてきた。これまでの取組を踏まえなが ら、引き続き市民愛着度の向上・深化につながる効果 的な取組を検討する。	政策企 画課
				実績値	%	-	61.5	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(2203) シティセールス の推進	47	地域魅力 度	ブランド総合研 究所が行う当該 年の地域ブラン ド調査結果。	目標値	位	-	-	-	154.0	140.0	127.0	113.0	100.0	⑥ 未達成	⑥ 未達成	⑥ 未達成	令和3年度に鳥取市シティセールス戦略の改訂を行い、令和4年度以降は鳥取市シティセールス戦略推進会議に外部委員のみならず市内関係課も同席し、市内全体におけるシティセールス関連事業の取組状況分析等を行ってきた。また、本市シティセールス推進に資するための職員研修を行い、シティセールスの視点を踏まえた施策推進を図っているところであるが、地域魅力度の順位は目標未達成である。これは、自治体間での地域ブランド競争が激化しており、設定している地域魅力度について、自治体間全体の数値の底上げが図られていることなどが影響していると考えられる。 今後、シティセールス市内関係課間での連携をより密にするとともに、引き続き職員研修実施により職員の資質向上に取り組むことで、シティセールスの視点を踏まえた施策の推進を図る。	政策企 画課
				実績値	位	-	181	187	218	171	179							
				達成率	-		-	-	未達成	未達成	未達成							
(2204) 自治体間連携の 推進	48	麒麟のま ち圏域の 人口	麒麟のまち圏域 構成市町の当該 年の国勢調査人 口の合計値。 ※「現状」は、 県が発表する構 成市町の10月1 日現在の推計人 口の合計値	目標値	人	-	-	253,348	251,631	249,914	248,197	246,480	244,763	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	「第1期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」の成果と課題を踏まえ、令和5年度から開始した「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に基づき、圏域市町で連携して取組を進めているが、達成率が年々微減している。 今後も引き続き連携し、随時点検・見直しを図りながら各取組を進めることで、人口減少・少子高齢社会にあっても、持続可能で魅力ある圏域の形成・発展に取り組む。	政策企 画課
				実績値	人	-	255,065	253,874	251,109	248,626	245,241							
				達成率	%	-	-	-	99.8%	99.5%	98.8%							
(2205) 他都市との交流 の推進	49	民間団体 による交 流件数	R3～7年度に鳥 取市の支援制度 を活用して実施 した交流事業の 累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	2	2	2	2	2	④ 遅延	④ 遅延	④ 遅延	新型コロナウイルス感染症の影響により、交流自粛の期間が続いたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、徐々に交流活動がコロナ前に戻りつつある中、交流人口の拡大に向けて、交流事業の再開や促進を図る必要がある。 コロナ後は釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業を対面で行うことが出来たほか、韓国清州市の議会・市民訪問団が鳥取市で交流事業を行うなど、友好を深める取組を行うことが出来た。 引き続き、各地域の県人会などと連携しつつ、民間団体による交流事業に対する支援の充実や、姉妹都市に関するパンフレットの配布や学習・交流機会の提供による相互理解の増進などに取り組むことにより、他都市との交流の推進を図る。	文化交 流課
				目標値 (累計)	件	-	-	-	2	4	6	8	10					
				実績値 (単年)	件	-	3	0	0	0	3							
				実績値 (累計)	件	-	-	-	0	0	3							
				達成率	%	-	-	-	0%	0%	50.0%							

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】⑦文化芸術の薫りあふれるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(2301) 文化芸術による まちづくりの推 進	50	市内文化 活動団体 連合組織 への加入 団体数	市内文化活動団 体連合組織の当 該年度6月末の 加盟団体数。	目標値	団体	-	-	-	203	203	203	203	203	② 概ね順調	② 概ね順調	② 概ね順調	少子・高齢化の影響を受け、活動者の高齢化により 団体数が減少していることを踏まえ、文化芸術活動の 持続発展に向けて、新たな活動者の参入・発掘・育成 を図る必要がある。 コロナ禍で落ち込んだ文化芸術活動再興のため、民 間ギャラリー活用支援やFM鳥取での文化芸術活動の 情報発信、さらには鳥取市芸術家バンク登録者を市内 小・中学校に派遣するなど、文化芸術活動に対して総 合的な支援に努め、文化芸術の推進に寄与した。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、補 助制度による活動支援、次世代を対象とした芸術鑑賞 教室・体験講座開催による人材育成、インターネット を通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持に よる活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、 文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交 流課
				実績値	団体	-	-	203	199	194	191							
				達成率	%	-	-	-	98.0%	95.6%	94.1%							
(2301) 文化芸術による まちづくりの推 進	51	文化芸術 鑑賞者数	鳥取市補助事業 等による当該年 度の観覧者数。	目標値	人	-	-	-	23,000	30,000	44,000	58,000	72,000	① 順調	① 順調	① 順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術 活動の自粛の期間が続いたが、新型コロナウイルス感 染症の5類移行により、文化芸術活動がコロナ前に戻 りつつある中、さらなる鑑賞者数の増加に向けて、市 民の文化芸術に対する関心喚起や意識高揚を図る必要 がある。 コロナ禍で落ち込んだ文化芸術活動再興のため、文 化芸術イベント開催に対する支援や老朽化した文化施 設の将来のあり方を示す「基本方針」を策定するな ど、文化芸術のまちづくりの推進に寄与した。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、イ ンターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設 の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組む ことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図 る。	文化交 流課
				実績値	人	-	61,280	22,930	23,969	47,995	56,780							
				達成率	%	-	-	-	104.2%	160.0%	129.0%							
(2302) 文化財の保存・ 整備による「ま ちづくり」資産 の形成	52	「文化財 が適切に 保存管理 されてい る」と思 う市民の 割合	当該年度実施の 市民アンケート 調査において 「満足」または 「やや満足」と 回答をした市民 の割合。	目標値	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	文化財所有者等への保存修理や維持管理への支援を 実施することができた。また末指定文化財の調査や指 定文化財の公開など文化財の利活用も併せて進めるこ とができた。 今後も継続して支援を進め、文化財の保存と利活用 を進めていく必要がある。	文化財 課
				実績値	-	-	33.2	-	-	-	-		-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					
	53	主な文化 財関連施 設への入 館数・指 定文化財 等の見学 者数	歴史博物館（や まびこ館）、因 幡万葉歴史館、 仁風閣、あおや 郷土館、青谷上 寺地遺跡展示館 等の施設や梶山 古墳・旧美敷水 源地等指定文化 財の当該年度の 入込数の合計 値。	目標値	人	-	-	-	142,000	143,000	144,000	145,000	146,000	③ やや遅延	② 概ね順調	② 概ね順調	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い入館者が大き く減少したあと、施設の休止や閉館などもあり入館者 が伸び悩んでいる。 今後も魅力的な展覧会や入館者の増加につながる取 り組みを継続的に進めていく必要がある。	文化財 課
				実績値	人	-	140,937	98,424	102,169	121,885	122,397							
				達成率	人	-	-	-	72.0%	85.2%	85.0%							

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】⑧快適で暮らしやすい生活環境づくり

26

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(2401) 生活基盤の充実	54	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	56.0	-	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	⑤ 評価 対象外	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の推進のため、関係機関に対する要望活動、県道整備の費用負担、幹線市道の整備等を継続して取り組んできた。今後とも幹線道路整備の推進を図っていく。	都市企画課
				実績値	%	-	53.2	-	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-					
	55	公共下水道整備率	公共下水道計画区域内人口に対する、処理が可能な人口の当該年度末の割合。	目標値	%	-	-	-	95.8	96.2	96.7	97.1	97.5	① 順調	② 概ね順調	② 概ね順調	指標実績値は目標値を少し下回っているが、概ね順調に整備を進めており、引き続き下水道未普及地域の整備に取り組んでいく。 また、整備が完了した地域については、接続率の向上を図るため、積極的な普及促進活動を行う。	下水道企画課
				実績値	%	-	95.3	-	95.9	96.1	96.6	-	-					
				達成率	%	-	-	-	100.1	99.9%	99.9%	-	-					
(2402) 中心市街地の活性化	56	中心市街地の居住人口（社会増減数）	中心市街地の居住人口の社会増減数（転入者数－転出者数）の5年間（R3～7年度）の平均値。	目標値	人	-	-	-	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	① 達成	① 達成	⑥ 未達成	令和3年度までは社会増が続いていたが、令和4年度以降、鳥取市全体の傾向と同様に社会減が続いている。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、徐々に民間の動きが始め、現在、中心市街地内で令和7年度末の完成に向けて建設中の新築マンションがあり、区域外からの転入増が期待される。中心市街地の社会動態は厳しい状況が続いているが、行政としても、令和5年度に行った既存ストックのデータベース化を活かしたマッチングの促進や空き家所有者への利活用の啓発を居住人口の増加に繋げていきたい。さらには、中心市街地へのオフィス誘致など、働く場の確保という切り口での取組も検討していく。	まちなか未来創造課
				実績値(単年)	人	-	60	50	68	-63	-62	-	-					
				実績値(平均)	人	-	-	-	68	2.5	-19	-	-					
				達成率	-	-	-	-	達成	達成	未達成	-	-					
	57	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日）	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	③ やや遅延	② 概ね順調	令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により通行量が減少傾向にあったが、5類感染症相当へ移行した令和5年度は通行量が回復に転じ、週末のたびに様々なイベントが開催されるようになるなど、まちなかでの賑わいが見られるようになった。 今後は、目標値達成に向け、鳥取駅周辺再整備や鳥取城跡の復元整備等のハード事業の進捗との連動を図りながら、中心市街地でのまち歩きへの推進に資する事業の実施などに取り組んでいきたい。	まちなか未来創造課
				実績値	人	-	19,113	15,707	16,489	15,370	17,297	-	-					
				達成率	%	-	-	-	82.0%	75.7%	84.4%	-	-					
	58	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	③ やや遅延	② 概ね順調	令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により通行量が減少傾向にあったが、5類感染症相当へ移行した令和5年度は通行量が回復に転じ、週末のたびに様々なイベントが開催されるようになるなど、まちなかでの賑わいが見られるようになった。 今後は、目標値達成に向け、鳥取駅周辺再整備や鳥取城跡の復元整備等のハード事業の進捗との連動を図りながら、中心市街地でのまち歩きへの推進に資する事業の実施などに取り組んでいきたい。	まちなか未来創造課
				実績値	人	-	21,900	18,900	16,453	14,725	16,628	-	-					
				達成率	%	-	-	-	81.9%	72.5%	81.1%	-	-					
(2403) 魅力ある中山間地域の振興	59	小さな拠点の形成箇所数	地域住民自らが将来にわたり安心して暮らし続けることができる地域づくりに主体的に取り組む「小さな拠点」の当該年度末の形成箇所数。	目標値	箇所	-	-	-	2	2	3	3	4	① 順調	① 順調	① 順調	令和3年度から令和5年度にかけて、小さな拠点の形成箇所数は目標値を達成しており、進捗は順調といえる。地域の実情に合った必要な事業を取り込み、住民が主体となった「小さな拠点」形成に向けて引き続き支援を行っていくとともに、情報発信や、新規団体の掘り起こしにも努め、直接的なアプローチを行う。	地域振興課
				実績値	箇所	-	1	1	3	4	4	-	-					
				達成率	%	-	-	-	150.0%	200.0%	133.3%	-	-					

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(2403) 魅力ある中山間 地域の振興	60	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	R3～7年度の輝く中山間地域創出事業（ソフト事業）の取組件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	6	7	8	9	10	③ やや遅延	② 概ね順調	② 概ね順調	令和3年度はコロナの影響もあり数が少なかったが、令和4年度、5年度については、目標値は達成できていないが取り組む団体が増えてきた。本事業は、中山間地域において地域活性化に向けた取組として有効であると考えており、引き続き、地域住民が自ら取り組むソフト事業を積極的に支援するとともに、事業周知にも努める。	地域振興課
				目標値 (累計)	件	-	-	-	6	13	21	30	40					
				実績値 (単年)	件	-	7	4	4	7	6							
				実績値 (累計)	件	-	-	-	4	11	17							
				達成率	%	-	-	-	66.7%	84.6%	81.0%							
	61	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	「とっとりふるさとリーダーアカデミー」で養成されたリーダーの当該年度末の人数。	目標値	人	-	-	-	280	285	290	389	409以上	① 順調	① 順調	① 順調	リーダー認定者数の目標は達成しているが、参加者の高齢化や地域の偏りが見られるため、若年層や、他地域の新規参加者が関心をもつようなテーマを取り扱う等して、ゼミ参加者の関心を広げていく必要がある。 今後は高校生、大学生も対象にしたゼミを開催するなど、新規の地域課題解決に取り組むリーダーの育成を行うとともに、継続して活動に取り組む個人や団体に対しては個別相談窓口により日々対応を続け、活動の深化を図っていく。	地域振興課
				実績値	人	-	275	292	316	343	369							
				達成率	%	-	-	-	112.9%	120.4%	127.2%							
(2404) 交通ネットワークの充実	62	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	30.0	-	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	今年度実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 人口減少や自家用車への依存によって公共交通利用者が減少しており、公共交通事業者においても乗務員の人材不足や高齢化によって減便等が続くなど公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にある。市民が安心して暮らせるようキャッシュレス化の推進や異なる交通手段をシームレスにつなぐ取組など市民が利用しやすい満足度の高い公共交通を目指す。	交通政策課
				実績値	%	-	22.2	-	-	-	-		-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					
	63	鳥取砂丘コナン空港の運航便数	鳥取砂丘コナン空港「鳥取－東京便」の当該年度の1日の運行便数。	目標値	便	-	-	-	-	-	-	-	6	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	鳥取-羽田便の5便が令和6年度まで維持されることが決定したものの、令和7年度以降の継続は不透明な状況である。引き続き関係機関と連携し更なる利用促進に取り組み、5便の定期便化を目指す。	交通政策課
				実績値	便	-	5	5	5	5	5							
				達成率	-		-	-	-	-	-	-						
(2405) 地域情報化の推進	64	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 CATV網の光ファイバ化が完了したエリアにおいて、CATV既加入者宅に対する光ファイバケーブルへの切替修繕及び既存HFC設備の撤去を実施し、超高速情報通信網（FTTH）への完全移行を目指す。	デジタル戦略課
				実績値	%	-	39.5	-	-	-	-		-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-		-					

【まちづくりの目標】豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち

【政策】⑨安全・安心に暮らせるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(3101) 地域防災力の向上	65	自主防災 活動助成 件数	自主防災会が実施する防災訓練への当該年度の活動助成件数。	目標値	件	-	-	561	569	577	584	592	600	③ やや遅延	③ やや遅延	② 概ね順調	新型コロナウイルスの5類移行により、自主防災会の訓練等の活動が再開されるに伴い、活動助成への問い合わせも増えている。 多発する災害に備え、訓練方法などの助言や防災コーディネーターによる支援に加え、先進事例の紹介などの支援を行い、助成件数は着実に増加している。 引き続き、自主防災会の活動支援を行い、共助の強化に取り組む。	危機管理課
				実績値	件	-	553	388	408	424	491							
				達成率	%	-	-	-	71.7%	73.5%	84.0%							
(3102) 防犯・交通安全 対策の充実	66	交通事故 発生件数	市内で発生した当該年の交通事故件数。	目標値	件	-	-	-	242	232	222	212	202	① 達成	① 達成	① 達成	交通事故件数は、目標値を達成している。引き続き関係機関と連携して交通事故防止に向けた啓発活動などに取り組む。	協働推進課
				実績値	件	-	262	198	204	187	195							
				達成率	-	-	-	-	達成	達成	達成							
(3103) 安全・安心な消費生活の確保	67	出前講座・公演会・啓発イベント等の実施件数	消費者啓発事業（出前講座・講演会、情報発信など）の当該年度の実施件数。	目標値	件	-	-	-	50	50	56	63	70	④ 遅延	④ 遅延	③ やや遅延	コロナウイルス感染症は5類となったものの、各団体が活動を控えたことにより、事業実績が目標値に達しなかったと考えられる。消費者教育・啓発事業については、消費生活プランに基づき、効果的な事業の実施方法を検討しながら、継続して取り組んでいく。 また、身近な相談窓口として、市民へ消費生活センターの認知度向上を図るため、啓発、広報など鳥取市消費生活センターの周知に努めていく。	市民総合相談課
				実績値	件	-	67	29	16	19	36							
				達成率	%	-	-	-	32.0%	38.0%	64.3%							

【まちづくりの目標】豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち

【政策】⑩環境にやさしいまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	中間評価				担当課
														R3内部 評価	R4内部 評価	R5内部 評価	中間評価コメント（成果・課題・今後の方向性等）	
(3201) 循環型社会の形成	68	鳥取市の年間ごみ総排出量	市内の家庭や事業所から出されるすべてのごみ（一般廃棄物）の当該年度の総排出量。	目標値	t	-	-	-	58,547	58,079	57,614	57,153	56,699	① 順調	① 順調	① 順調	人口減少に伴い、ごみの総排出量が減少傾向にある中、令和5年度実績は想定を大きく上回った。排出者がごみの減量化と再資源化を徹底したことが成果として現れたと思われる。 引き続き、市民及び事業者に分かりやすい広報に努め、ごみの排出量抑制に繋げたい。	生活環境課
				実績値	t	-	59,495	58,059	57,961	56,624	54,256							
				達成率	%	-	-	-	101.0%	102.5%	105.8%							
(3201) 循環型社会の形成	69	一人一日当たりのごみ総排出量	市内の家庭や事業所から出されるすべてのごみ（一般廃棄物）の当該年度の一人一日当たりの総排出量。	目標値	g	-	-	-	866.0	862.0	858.0	854.0	850.0	① 順調	① 順調	① 順調	令和4年度から「生ごみ堆肥化容器等購入費補助金」の増額に伴い、本制度の利用者数が増加した。本件と4Rに関する継続的な広報活動により、ごみの減量化に繋がったと考える。 今後も4Rの普及・広報活動を推進し、ごみの排出量抑制に寄与したい。	生活環境課
				実績値	g	-	875	859	864.0	851	822							
				達成率	%	-	-	-	100.2%	101.3%	104.2%							
(3202) 環境保全活動の推進	70	環境教育講座の実施	市が開催・企画する環境に関係する講座や研修等の環境教育・啓発活動の当該年度の実施回数。	目標値	回	-	-	-	1	2	3	4	5	① 順調	① 順調	① 順調	小学生から社会人まで、幅広い年齢層に対し環境教育の機会を提供できた。社会を取り巻くあらゆる環境問題の解決には、常に環境を配慮できる人材の育成が求められるため、事業の拡充を含め、今後も環境教育の充実を図りたい。	生活環境課
				実績値	回	-	2	0	4	5	15							
				達成率	%	-	-	-	400.0%	250.0%	500.0%							